

型試合規約

1、審判基準

審判員及び審議委員は同等の権限をもって協議の審査に当たるが、協議に関する最終決定はすべて審判長の裁可による。旗判定は3名、又は5名の審判員がどちらか一方の旗を上げて行う。引き分けはない。審判員はそれぞれに異議を申し立て競技する権限を有する。

2、クラス(階級)・型 ※別紙参照

3、試合の方法

【個人戦】

①各階級予選指定型を一人ずつ単独で行う。2～3名の審判員が評価を行なう。

②上位2名が決勝戦に進出する。

同点の場合、演技構成点が高い方を勝者とする。演技構成点も同点の場合は再試合により決着する。※初級クラスは、演技構成点はなく、技術点(基礎点・技術点)のみで評価を行う)

③決勝戦は、各クラス決勝指定型を一人ずつ単独で行う。3名、又は5名の審判員による旗判定で決まる。引き分けは無い。

4、着 衣

選手は清潔な空手道衣を着用すること。袖、裾の折り返しを禁ずる。

5、評価基準

技術点と演技構成点により評価を行なう。

【初級・中級】→技術点のみ(50点満点)

【選抜】→技術点+演技構成点(100点満点)

技術点 (50点満点)		演技構成点 (50点満点)
基礎点 (25点満点)	技術点 (25点満点)	
体軸のブレ	極め技(安定、加速度)	気の吸収/充満/解放力・表現力・芸術性
予備動作	軌道・止め(気合)	
	目線	

6、失 格

①審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされた時。判定時の「雄叫び」「ガッツポーズ」等礼節を欠いた態度を取った場合、失格となることがあります。

②出場時刻に遅れたり、出場しない時。

③申告した型と異なる型を演技した時。演技を途中で中止した時。

※初級クラスはこの限りではない

7、その他

①道場・流派・会派による細部動作等の相違や気合の箇所の相違は評価基準の対象と致しません。

②判定に対する抗議は一切認めません。